



発信 No.2021-62
2022年2月9日
学校法人 大正大学

地域創生のための総合情報誌『地域人』第78号
2月10日発売！ 特集「良い宿ってなあに？」

～森まゆみさんと考える、これからの日本の宿～

大正大学（学長：高橋秀裕、所在地：東京都豊島区）は、地域創生のための総合情報誌『地域人』第78号を2月10日に発売します。特集は、「良い宿ってなあに？」。

旅先で泊まった宿が、まちの印象や旅の思い出を決定づけることもあります。一年に120泊する作家の森まゆみさんが、岩手・福島・長野・長崎・兵庫で、スタイルの違う宿に泊まった【宿を旅する】。古民家活用の新しい宿を提案する2人の起業家へのインタビューと、世代の違う女性2人でゲストハウスの魅力を語る【宿を考える】。さあ、旅へ行こう！そんな日常が戻ることを願って。



『地域人』第78号表紙。



ねえ、宿ってなんなの？一切のパブリシティをなくして考えてみた。

特集 良い宿ってなあに？

その一 宿を旅する

- ・放浪の宿へ[岩手]
 - 苫屋／山小屋フィールドノート／ととと
 - 【ある日の宿の思い出】大型旅館型ホテルというスケールメリット
- ・建築の魅力[福島]
 - 旅館ひげの家／ホテリ・アアルト／向瀧
 - 【ある日の宿の思い出】身軽な一人旅
- ・街道を歩く[長野]
 - 伊勢屋／BYAKUと日々別荘／マスマヤゲストハウス／ぎん月
 - 【ある日の宿の思い出】安上がりな客
 - みなとや旅館
 - 古材と古道具を次世代に リビングセンタージャパン
- ・海が恋しい[長崎]
 - ホテルオークラ JRハウステンボス／蒸気家／月と海
- ・古民家を守る[兵庫]
 - 篠山城下町ホテル NIPPONIA／集落丸山



その二 宿を考える

30年で30万棟の古民家を救いたい／藤原岳史 一般社団法人ノオト代表理事
居心地の良い宿と町に会いに行く／宮崎晃吉 一般社団法人日本まちやど協会代表理事
違う人生の歩み方 ゲストハウスで知る新しい価値観／前田有佳利×森まゆみ



東北から九州までスタイルの違う宿を旅する。まずは岩手県「放浪の宿へ」 集落再生の原点、丹波篠山の宿「集落丸山」。理念と実現への手法を聞く。

『地域人 (chiikijin)』

2015年9月に創刊。地域で活躍する人々の前向きで積極的な“生”の情報を新鮮なまま毎月お届けし、ビジネスや生活に役立つことはもちろん、地域創生のテキストとしても活用されています。

発刊：月刊（毎月10日発売予定）／定価：本体1,100円（税込み）／発行・発売：大正大学出版会／編集：大正大学地域構想研究所／制作：大正大学事業法人 株式会社ティー・マップ／編集・発行人：柏木正博（大正大学専務理事）／編集長：渡邊直樹（大正大学客員教授）／部数：15,000部／判型：A4変型／平綴じ／ページ数：本文100ページ／大型書店、ウェブ書店で発売中。電子版も発売中。『地域人』



YouTubeチャンネル：

https://www.youtube.com/channel/UcKRcv_bLrXHjZDHabpw1Kw/videos

◆大正大学

大正大学は、設立四宗派の天台宗・真言宗豊山派・真言宗智山派・浄土宗および時宗が協働して運営する大学です。その協働の精神を支えているのが、大正15年（1926）の創立時に本学が掲げた、「智慧と慈悲の実践」という建学の理念です。建学の理念のもとに〈慈悲・自灯明・中道・共生〉という仏教精神に根ざした教育ビジョン「4つの人となる」を掲げて教育研究の活動を展開しています。また、令和2年度文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」に本学の推進する「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」が採択されました。公式HP：<https://www.tais.ac.jp/>

令和2年度 文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択校

「新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業」 大正大学

■取材に関するお問い合わせ

大正大学 総合政策・広報課 志村

電話：03-5394-3025（直通）FAX：03-5394-3068

E-mail：kouhou@mail.tais.ac.jp